

## 令和6年度ターンテーブルの運営状況等について（報告）

### 1. 施設の特徴

- ・平成30年2月、東京都渋谷区に開設、令和7年度で9年目
- ・一般的な物販店舗ではなく、飲食・宿泊・交流機能を通じ魅力体験できることが特徴

#### 【令和6年度の主な取組実績】

- ・県産食材の認知度向上に向けたTV等のメディアでの情報発信  
(623回：広告換算効果額 約2.7億円)
- ・徳島の「食・文化・観光」の魅力発信のため首都圏イベントに出張出店  
(3回：約10万人にPR)
- ・県産品の販路拡大を図るためテストマーケティングや商談会を実施  
(商談件数133件)

### 2. 運営状況

- ・「施設利用者数」は、「飲食・物販」の利用者数が低迷した一方で、インバウンド需要の拡大により「宿泊」の利用者数が増加したため、前年並み
- ・「総売上高」は、前年より増加したものの、人件費・一般管理費（光熱費・資材費等）の高騰により、「経常利益」は減少
- ・「ターンテーブルがきっかけとなって県産食材等の取引につながった売上額」は、商談会による新たな販路の拡大により、前年より増加

#### 【施設利用者数】

	R5年度	R6年度	前年度対比	
飲食・物販	56,979人	56,446人	-533人	99%
宿泊	14,197人	14,701人	+504人	104%
計	71,176人	71,147人	-29人	99%

#### 【収支状況】

区分	R5年度	R6年度	前年度対比	
総売上高①	292,255千円	302,624千円	+10,369千円	104%
飲食・物販	178,391千円	181,020千円	+2,629千円	101%
宿泊	113,864千円	121,603千円	+7,739千円	107%
売上原価②	78,256千円	78,411千円	+155千円	100%
人件費・一般管理費③	212,615千円	231,942千円	+19,327千円	109%
経常利益 (①-②-③)	1,384千円	-7,729千円	-9,113千円	-

#### 【ターンテーブルがきっかけとなって県産食材等の取引につながった売上額】

	R5年度	R6年度	前年度対比	
県産食材等の売上額	339,778千円	363,285千円	+23,507千円	107%

### 3. 今後の主な取組み

#### ○県産食材の認知度向上

「なると金時」や「ゆず」、「すだち」など旬の食材による訴求力の高いフェアやマルシェの実施、大手企業と連携したSNSによる情報発信

#### ○魅力発信の強化

インバウンドを中心に、県内各地域の「食・文化・観光」を「まるごと体験」できる魅力発信イベントの開催

#### ○県産品の販路拡大

(公社)徳島県産業国際化支援機構と連携した県産品のテストマーケティングや、首都圏飲食店チェーン等をターゲットとした商談会の実施